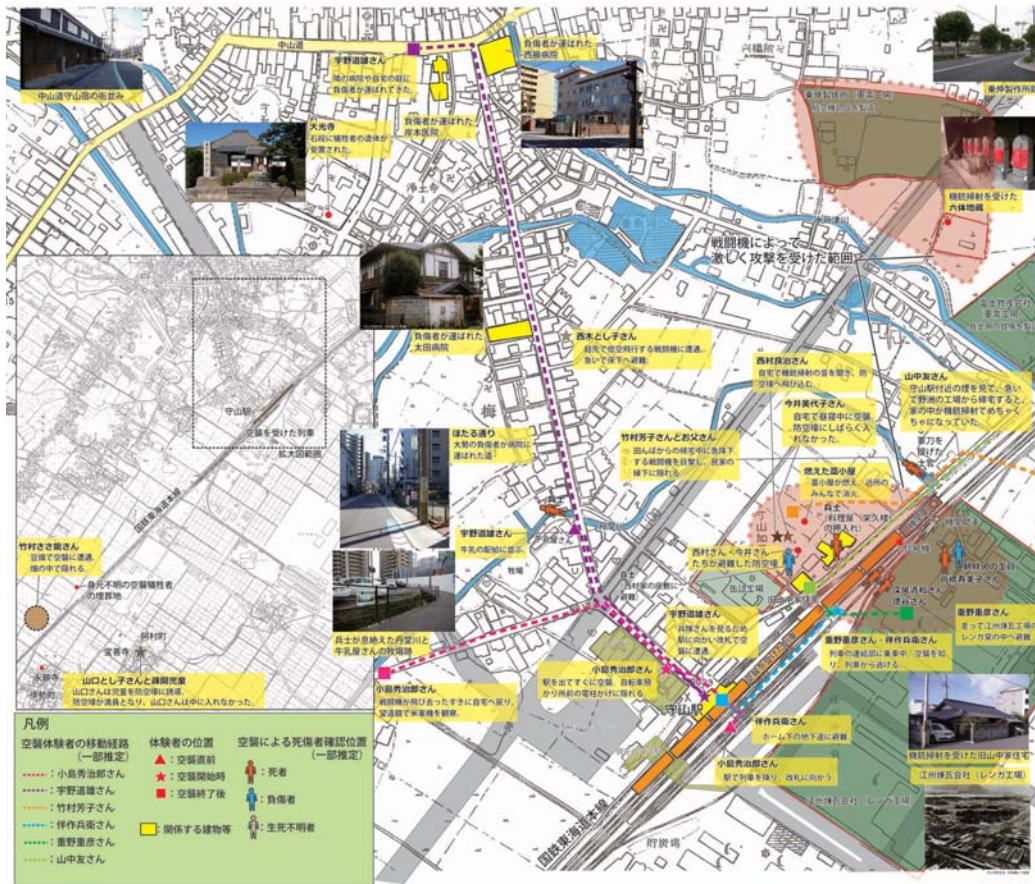


## 体験証言に見る守山空襲 (空襲時の体験者の体験と行動)



展示バナー「体験証言に見る守山空襲」

**今回ご紹介する守山空襲関係者のプロフィール** 昭和20年7月30日 本日の予定

**守山駅周辺にお住まいの人たち**

- 竹村芳子さん**  
大津高等女学校生  
女子挺身隊で東洋レーヨンへ  
7月は原爆のため、実家に  
帰省中  
父親と娘の撮り
- 宇野道雄さん**  
国民学校生  
駅の近所の牛乳屋  
さんへ配達牛乳を  
もらいに行く
- 西村貞治さん**  
東洋レーヨンへ学徒動員
- 山中友さん**  
野洲の工場へ出勤

**業太歳字校生たち**

- 高橋美奈子さん**  
おばあさんと  
家で留守番
- 小島秀治郎さん**  
業太歳字校3年生  
8月から海軍に入隊予定  
高砂製作所へ動労動員
- 藤村千穂子さん**  
深尾清和さんの妹  
国民学校3年生  
子供会で動労奉仕へ
- 深尾清和さん**  
業太歳字校1年生  
近江八幡駅から列車通学
- 徳谷徳弘さん**  
業太歳字校3年生  
蒲原駅から列車で動員先へ?
- 重野重彦さん**  
業太歳字校1年生  
動労動員で野田  
炭子炭へ

**疎開児童のお世話を  
された人たち**

- 山口とし子さん**  
疎開児童の養母さん  
児童とともに守山へ  
お寺で子供たちの子守
- ちと疎開先**
- 竹村さきさん**  
多聞寺住持の奥さん  
ご主人は出征中  
受け入れ児童のため、  
福家さんの家で昼を  
もらう

**沿津行き列車の乗客**

- 部隊その1**  
列車で浜松へ兵士を輸送中
- おばあさん**  
途中の駅のところへ向かう
- 常念寺の住職**  
口ぐせは「こんな戦争あかん」
- 部隊その2**  
列車で敦賀へ兵士を輸送中
- 大森方面からの乗客**  
お勤めのため、京都の東本願寺へ?

イラストは知照館で描出し、イメージです。  
出典DVD「大坂から来た人の子」、「道真義勇州知事選挙の記者たち」  
のイラストを転載

守山空襲関係者のプロフィール

### (3) 企画展示関連事業

地域に残る戦争の痕跡をたどる目的で、昨年度に引き続き八日市飛行場跡周辺の探訪会を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大により参加者の安全を確保できないと判断し、参加者募集の途中で事業を中止した。

#### 戦争遺跡探訪会 「探訪 陸軍八日市飛行場と八日市の街並み」

開催予定日時 令和2年(2020年)3月20日(金)9:00~12:00(中止)

募集人数 30名

事業概要 市内に残る旧陸軍八日市飛行場の痕跡と八日市の街並みをめぐる探訪ツアーを計画し、参加者の募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため中止となった。

なお、予定した探訪コースは、近江鉄道八日市駅から札の辻バス停までバスで移動し、飛行第三連隊正門跡、冲原神社、飛行場前駅跡を経て、偕行社跡や憲兵隊八日市分遣隊跡などを見学したのち、八日市駅前を終点とするものであった。

全行程約4km。

#### (4) 特別企画展示

##### 第8回特別企画展示「家族の絆」

会期：平成31年（2019年）4月1日～令和2年3月31日

会場：当館エントランス

##### 開催趣旨

戦争中、多くの方が家族と離れ、戦地へ向かわなければならないなか、家族に対して涙を見せることはできなかった。送り出す家族も「無事に帰ってきてほしい」と心の中で思いながらも、「お国のために」と送り出したのである。

遠く離れた家族を繋ぐモノ、それは家族の写真であった。出征した兵士は戦場で、残された家族は故郷で、愛おしい家族の写真を胸に厳しい時代を必死に生き抜こうとした。今回の特別企画展示「家族の絆」では、出征兵士とその家族を写した多くの写真を通して、一番身近な存在である家族の大切さや絆を、もう一度思い出していただくきっかけとなることを目指した。



展示の様子



## (5) 地域交流展示

### 「新作 戦争体験者 証言映像 2018 上映」

期間：平成31年（2019年）4月3日～令和元年（2019年）6月30日

事業概要：昨年度制作した戦争体験者証言映像を、より広く県民の皆さんに知ってもらおうと視聴スペースを設けて常時上映した。同時に、証言された5名の語る内容を紹介するパネルを展示した。



### 「滋賀の戦跡パネル展」

期間：令和元年（2019年）7月3日～9月1日

事業概要：滋賀県内に残る戦跡（戦争遺跡）を紹介するパネル（21点）を展示した。また当時の航空写真（ターポリン地図）を使用し、戦跡の位置を記したのもも展示した。



### 「戦時中の体験 触れる 感じる そして考える」

期間：令和元年（2019年）9月4日～12月22日

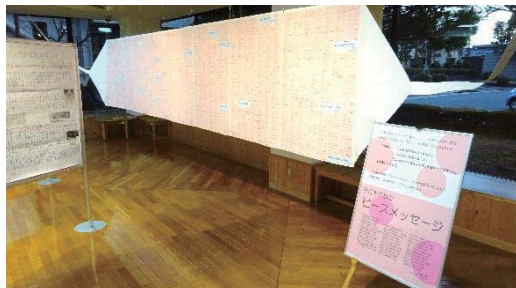
事業概要：背嚢を背負った時の重さ体験や国民服の試着、瓶搗き精米など、体験を通して学ぶ展示を実施した。



## 「県内小中学校平和学習 子どもたちの足跡展」

期間：令和2年（2020年）1月8日～3月22日

事業概要：各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。また、9～12月に来館した学校の児童生徒に書いてもらったピースメッセージ（33校 1730枚）を展示した。



## (6) 収蔵展示

収蔵展示では、県民の皆さまからご寄贈いただいた戦時中の品々を中心に年 2 回程度テーマを設けて展示している。あわせて、戦時中の写真や映像資料をとおして、今では見られなくなった風景や風習等について紹介した。

### 「戦争が終わっても」

戦争が終わってもなお厳しい状況に置かれた方々や戦後の暮らしを実物資料や体験談をとおして紹介した。

展示期間：令和元年(2019年)8月2日から12月22日



### 「新着収蔵資料展」

平成 30 年度にご寄贈いただいた品々を紹介した。

展示期間：令和 2 年(2020年)1月8日～7月12日



## (7) その他の展示

### 県庁・県立図書館でのパネル展示

当館で開催した企画展示の内容をコンパクトにまとめたパネル展示を、県庁の新館・本館の3階渡り廊下展示スペースと本館1階県民サロン、県立図書館談話室において開催した。

#### 1) パネル展示「戦時下の村と陸軍飛行場」

会 期	会 場
令和元年6月10日～7月9日	県庁3階渡り廊下
令和元年7月10日～7月31日	県庁1階県民サロン
令和元年10月23日～11月4日	県立図書館談話室

#### 2) パネル展示「沖縄戦1945年ー滋賀県出身の兵士がたどった道ー」

会 期	会 場
令和元年10月1日～10月31日	県庁3階渡り廊下
令和元年11月1日～11月28日	県庁1階県民サロン
令和2年1月7日～1月21日	県立図書館談話室

#### 3) パネル展示「写真週報に見る戦時下の女性」

会 期	会 場
令和2年1月6日～2月6日	県庁3階渡り廊下
令和2年2月7日～2月28日	県庁1階県民サロン



## 2 資料収集保存事業

### (1) 戦争体験聞き取り調査

当館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦時中の体験について聞き取り調査を行っている。聞き取り調査は、開館以前の平成5年度から継続して実施しており、資料寄贈のみの場合も含めて2千人以上の協力を得ている。

体験者の高齢化が進む中、戦闘体験などの第一線での体験談を聞き取る機会が少なくなり、国民学校や銃後と言われた国内での体験が増える傾向にある。

令和元年度の聞き取りに関する調査件数は121件あり、その内延べ39名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、資料寄贈に付随した体験等の件数は24件である。この他、資料寄贈のみで体験談の付随しないものは50件、問い合わせ等19件であった。

体験談の内容では、国民学校児童や中等学校生徒としての体験が約4割を占め、次いで軍隊での体験が約3割を占めた。また、銃後における空襲や生活体験が約2割見られた他、夫や父を戦争で亡くした遺族としての体験や従軍看護婦としての体験も若干見られた。

～令和元年度戦争体験聞き取り調査事例～

#### 伏見の高射砲部隊へ現役兵として入隊

村上 義夫さん (94才) = 豊郷町 =

村上義夫さんは、昭和19年(1944年)11月、伏見の中部第7611部隊へ入隊します。この部隊は高射砲部隊であり、飛来する爆撃機を高射砲によって撃ち落とすことが任務でした。村上さんは、入隊前に勤めていた国鉄時代に通信技術を習得していたこともあり、高射砲部隊の通信班に配属されます。入隊後一月ほどして、部隊は本土防衛のための高射砲陣地があった清水へ貨車で移動します。

通信班は、高射砲を撃つための敵機の高度や侵入方向、気象観測データ等の情報を得る重要な役割を担っていました。このため、モールス信号で送受信を行う猛訓練が始まりますが、村上さんにとってはすでに実際に使っていた通信技術であったために、それほど苦労はなかったと言います。しかし同期兵には、全く初めての人もおり、また、召集兵で年配の人もいてかなり苦労し、中には自殺した人もいたということです。そういう中で、村上さんはむしろ教える立場になっていたほど習熟していたので、戦後75年も経った現在でも、相当なスピードで打つことができます。

部隊の陣地は三保の松原の近くにあり、日本本土への爆撃のために編隊を組んで高度800メートルぐらいを飛行する米軍の爆撃機に向けて砲撃します。しかし、撃墜することは難しく、村上さんが目撃した撃墜機は3機ぐらいだったそうです。

村上さんは終戦後間もなく除隊して帰郷しますが、最も印象に残っているのは、出征の日に、母親が神棚の前で声を押し殺して、嗚咽していた姿でした。村上さん自身も生きて帰ることは考えなかったと言います。悲壮な想いの出征だったのでした。



## (2) 収蔵資料の整理・保存

当館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦時の滋賀県に関連する資料 40,000 点以上を所蔵し、その整理、保管を行っている。令和元年度は、新たに 3,156 点の資料を収集した。収集した資料は、ほとんどが県民の皆様からのご寄贈いただいた品物である。

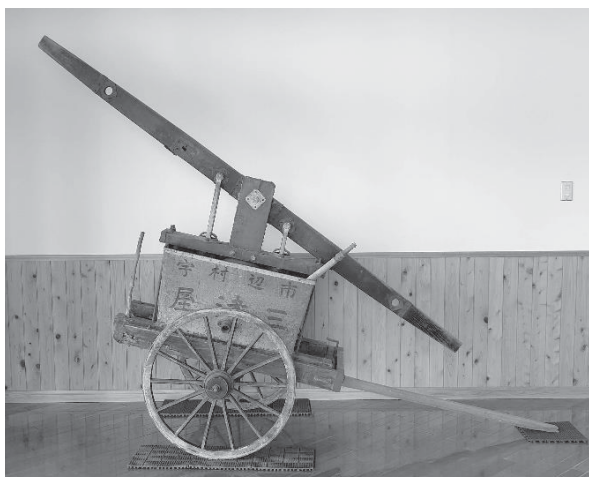
近年、戦争体験者の子や孫世代の方々がご家庭内で継いできた品物を当館へ託されることが多い。ご寄贈者の中には、祖父母の戦争体験を語っていただく方も少なくなく、ご家族で品物を大切に思い継いできたことがわかる。また、地域やご親族の戦争資料を後世に伝えていくために、ご寄贈を促すよう声をかけてくださる方もおられる。これまで県民の皆様が継いできた遺品や戦時にまつわる品々を後世に伝えていくために、適切な保存と収蔵に務める。

～令和元年度受け入れ資料の事例～

### 手押しポンプ車

戦時中に使用されていた手押しポンプ車である。昭和 18 年(1943 年)9 月に新調。荷台の部材、車輪の木製部分は一部朽ちているが、戦時中の資料として大変貴重なものである。

東近江市 三津屋自治会 提供



### 戦時中の村葬をおさめたフィルム

日中戦争で戦死した高岡堅太郎さんの志津村（今の草津市）で執り行われた葬儀をおさめたフィルムである。葬儀に参列した児童、婦人会の姿がみられ、銃後の風習を映した貴重な映像資料である。村葬の弔辞等の遺品も多数ご提供いただいた。

草津市 高岡 由喜晃さん提供



### 3 普及啓発事業

#### (1) 平和学習講座

##### ①「沖縄摩文仁の丘の慰霊塔・碑文が語りかける戦争の記憶」

開催日時

令和元年（2019年）6月16日（日）13:30～15:00

講師および受講者数

福島 栄寿 氏（大谷大学文学部歴史学科 教授）

受講者 45名

事業概要

沖縄戦最後の激戦地摩文仁の丘には、多くの慰霊塔・碑が建つ。それらに刻まれた碑文の内容は、あまり知られていないものが多い。戦争の記憶が刻まれたそれらの碑文が語りかけてくるものとは何か。忘却されつつある碑文を取り上げながら、解説頂いた。



##### ②「沖縄戦没者慰霊碑が伝えるもの」

開催日時

令和元年（2019年）7月14日（日）13:30～15:00

講師および受講者数

上杉 和央 氏（京都府立大学文学部歴史学科准教授）

受講者 50名

事業概要

沖縄に400以上ある慰霊碑について、これまで調査してきた内容を講義頂いた。滋賀県を含めた都道府県の慰霊碑はもちろん、地域の人々の作ったものや、学徒の碑についても紹介し、地域や人々のなかでの「慰霊」の多様なあり方を解説頂いた。



#### (2) 大人のための歴史教室

##### 第1回 「はじめは満州だった」

##### 第2回 「女たちのシベリア抑留」

開催日時

令和元年（2019年）10月26日（土）、11月9日（土）

各回ともに13:30～15:00

講師および受講者数

生田 美智子 氏（大阪大学名誉教授）

第1回 受講者 67名

第2回 受講者 43名

事業概要

大阪大学名誉教授の生田美智子氏を講師に迎えて講義頂いた。1945年、若い女たちが旧満州で戦争に巻き込まれ、敗戦によって現地収容生活を送った後、シベリアに抑留されるに至った。極限状況のなか、何を考え生き抜き、引き揚げてきたのか。当事者の小さな声をひろい、旧満州や旧ソ連での現地調査と最近発見されたソ連の公式文書とを交錯させることで、その生の軌跡を解説頂いた。第1部では、ソ連軍占領地満州での生活、第2部ではソ連シベリアにおける抑留生活の実態を考察した。



### (3) 戦争体験を聞く会

(令和元年度から不定期実施。4月、5月、8月13、14日の平和を祈念する日事業にて計4名、3月は8周年事業にて実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。)

4月14日(日) 13時30分～15時00分 研修室  
平尾 泰造 さん(昭和9年生まれ 東近江市在住)  
「少年が見た、戦時下の当時の様子と八日市飛行場」  
参加者 23名



5月12日(日) 13時30分～15時00分 研修室  
北川 麗三 さん(大正12年生まれ 米原市在住)  
「満州国鉱工技術員生の日々と鞍山高射砲隊での体験  
～一番砲手としての任務とB29来襲～」  
参加者 18名



8月13日(火) 14時00分～15時30分 研修室  
岩崎 三之利 さん(昭和5年生まれ 京都市在住)  
「戦争と沖縄 ～兄がたどった道～」  
参加者 38名



8月14日(水) 14時00分～15時30分 研修室  
園田 芳邦 さん(昭和7年生まれ 大津市在住)  
「銃後における学生時代の体験  
～神戸大空襲 東洋レーヨン空襲 通学途中の機銃掃射～」  
参加者 32名



8月15日(木) (台風のため、イベントを中止)  
田中 政之さん(昭和5年生まれ 大津市在住)  
「舞鶴鎮守府志願水兵としての戦時体験」

3月15日(日) (新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止)  
小山田 仙三さん(昭和6年生まれ 甲賀市在住)  
「信楽で手りゅう弾、地雷づくりを経験して」



(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク（新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止）

「岩脇蒸気機関車避難壕現地見学会」

日時 令和2年（2020年）3月21日（日）10:30～11:30

会場 米原市岩脇 1621 岩脇山

事業概要

岩脇町づくり委員会より藤本伝一氏を講師・ガイドに迎えて、岩脇蒸気機関車避難壕の現地見学会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止した。

(5) 平和を祈念する日事業

期間 令和元年（2019年）8月13日（火）～14日（水）※15日（木）は台風10号接近のため中止

参加者 のべ 394名

事業概要

8月13日～14日の期間、【平和を祈念する日事業「未来へのバトン～あなたが『つなぎ人』～】として、様々なプログラムを開催した。

2日間を通して午前中に映画上映会、子ども映画上映会を、午後からは戦争体験を聞く会を行った。映画上映会では、「沖縄戦全記録（NHKスペシャル）」（13日）、「旅立ちの島唄 - 十五の春 -」（14日）を、子ども映画上映会では、アニメ映画「ふたつの胡桃」（13日）、「かんからさんしん」（14日）を上映した。また、戦争体験を聞く会では、京都市在住の岩崎三乃利さん、大津市在住の園田芳邦さんの2名の方々にお越しいただき、当時体験された様々なことについてお話し頂いた。

その他にも、13日には沖縄三線グループ「くくる」によるコンサート（午後）、14日には当館ボランティアによる創作劇「一膳の糧」の発表（午後）を行った。

また、期間中は子どもたちが平和への願いを込めて作ったあんどんを1階ロビーに並べ、ライトアップした。

平和を祈念する日事業のご案内 滋賀県平和記念館

# 未来へのバトン

～あなたが『つなぎ人』～

日時 8月13日(火) 11:00-15:30  
14日(水) 10:00-15:30  
15日(木) 9:45-15:30

入場無料

場所 滋賀県平和記念館  
滋賀県米原市下中野町431番地  
TEL 0749-46-0300 FAX 0749-46-0350  
mail hoaiwa@pref.shiga.jp

## 昨年度開催期間中來館者のべ898名

### 参加者の声

10代 女性  
20代 女性  
30代 女性  
40代 女性  
50代 女性  
60代 女性  
70代 女性  
80代 女性

「戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく」  
おじいさんの戦「存続」より  
昭和、平成、そして令和。74周年の戦いの日を迎えるにあたり、米原市の平和記念館へ来ていただき、戦時のことを学んだり、平和への願いを語りつづける大切な機会にしたいと思います。また、平和の尊さを未来へとつなぐ一歩になってほしいと思います。その願いを込めて参加します。

## 戦争体験を聞く会

各日とも 14:00開始 2階研修室

13日 13:00-13:50 2階研修室  
14日 13:00-13:50 2階研修室  
15日 9:45-11:55 2階研修室

13日 11:00-12:00 2階研修室  
14日 10:00-11:00 2階研修室  
15日 10:00-11:00 2階研修室

13日 13:00-13:50 2階研修室  
14日 13:00-13:50 2階研修室  
15日 13:00-13:50 2階研修室

13日 13:00-13:50 2階研修室  
14日 13:00-13:50 2階研修室  
15日 13:00-13:50 2階研修室

## 日程スケジュール

8/13(火)

- 11:00-12:00 映画上映会 NHKスペシャル「沖縄戦全記録」
- 11:00-11:50 子ども映画上映会 アニメ ふたつの胡桃
- 13:00-13:50 沖縄三線コンサート 出演 / くくる
- 14:00-15:30 戦争体験を聞く会 講師 / 岩崎三乃利さん

8/14(水)

- 10:00-12:00 映画上映会 旅立ちの島唄 - 十五の春 -
- 10:00-12:00 子ども映画上映会 アニメ かんからさんしん
- 13:00-13:50 当館ボランティアによる創作劇 劇名 / 一膳の糧
- 14:00-15:30 戦争体験を聞く会 講師 / 園田芳邦さん

8/15(木)

- 9:45-11:55 映画上映会 アニメ びんぼうの唄
- 10:30-11:45 子ども映画上映会 アニメ ウツメと少年
- 11:55-12:10 平和を祈念する七色ミニコンサート 滋賀県平和記念館ボランティアグループ
- 12:15-13:00 当館ボランティアによる 戦時食提供
- 13:00-13:50 ミニコンサート 出演 / 八日市児童合唱「スマッシュ」
- 14:00-15:30 戦争体験を聞く会 田中 敬之 さん (昭和5年生まれ) 「無縁橋守り高木長としての戦争体験」

100歳限定

イベントチラシ



沖縄三線コンサート「くくる」



ボランティア・演劇グループ



## (6) 開館8周年記念事業（新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止）

日時 令和2年（2020年）3月15日（日）10:30～16:00

### 事業概要

開館8周年を記念して3月15日に「戦争体験を聞く会」や、当館職員による戦争体験聞き取り調査などの事業活動報告会、また子ども向け事業「へいわの学校あかり」参加者による活動報告会など、様々なプログラムを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止した。



## イベントチラシ

## (7) 館長講座「平和塾・つなぎ人（びと）」

日時 毎月の第2土曜日 14:00～15:30

参加者 延べ31名

### 事業概要

戦争体験者の方々の高齢化がすすむなか、つなぎ人（語り部）の育成は開館当初から当館の重要な役割と位置づけられており、昨年度から試行的に開始した「語り部次世代育成講座」を発展的に解消し、新たに今年度から開始した。

## (8) 映画上映会（毎月1回実施、13時30分～ 研修室）

- 4月28日（日） 映画「鯉昇れ、焦土の空へ」 参加者 55名
- 5月26日（日） 映画「禁じられた遊び」アンコール3位作品 参加者 81名
- 6月23日（日） 映画「グレート・ディバーター」 参加者 60名
- 7月28日（日） 映画「アウシュビッツ行き最終列車」アンコール4位作品 参加者 124名
- 8月25日（日） 映画「夏の庭 The Friends」 参加者 110名
- 9月22日（日） 映画「命のビザ」アンコール5位作品 参加者 110名
- 10月27日（日） NHKスペシャル「戦慄の記録インパール」 参加者 67名
- 11月24日（日） 映画「カメジロー～沖縄の青春～」アンコール6位作品 参加者 74名
- 12月22日（日） 映画「ザ・ハント ナチスに狙われた男」 参加者 94名
- 1月26日（日） NHKドラマ「真珠湾からの帰還 軍神と捕虜第一号」アンコール7位作品 参加者 120名
- 2月23日（日） NHKドラマ「花へんろ特別編 春子の人形」 参加者 106名
- 3月29日（日） 映画「土と兵隊」（新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベントを中止）

## (9) 平和の学校あかり

開催日

前期講座：令和元年（2019年）5月26日・6月2日・7月21日・7月24日  
 ・7月28日・7月30日・8月4日・8月9日・8月22日

後期講座：令和元年（2019年）10月14日・11月10日・12月7日  
 ・令和2年（2020年）2月15日・（3月15日中止）

計 13 講座



前期募集案内



後期募集案内

会員数 35名 のべ参加者 225名

事業内容

### ①「平和の学校あかり開校講座【ミニバックヤードツアー、缶バッジづくりなど】（5月26日）」

全14回の講座の開校講座を行った。本事業の説明の後、館内見学やバックヤードツアーを実施した。続いて、ワークシートに取り組みながら館内の展示を回る活動を行い、最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



バックヤードツアー



ワークシートにチャレンジ

### ②「育てて食べよう戦時食①」（6月2日）」

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの苗植えを行った後、戦時に食べられた野草を祈念館周辺で探すネイチャービンゴを行った。最後にボランティアの戦時食グループの方々に作っていただいた戦時のおやつを試食した。



サツマイモの苗植え



戦時のおやつを試食



③「教えて戦争体験Ⅰ【戦時の暮らしと学校】」（7月21日）

戦時を国民学校の児童として過ごされた豊原隆夫さんを講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後には、質疑応答の時間も用意した。



講座のようす

④「演劇で学ぶ戦争」（7月24日）

ボランティアの演劇グループの公演を通して、戦争・平和について考える機会を提供した。



公演のようす

⑤「戦時食調理体験『すいとん』を作って食べよう」（7月28日）

ボランティアの戦時食グループの方々にご協力いただき、戦時食の代表である「すいとん」を調理して試食した。また、戦時の食についての話も聞いた。



すいとんの調理体験



すいとんの試食

⑥「子どもたちの歴史学習講座」（7月30日）

学校の歴史学習で学ぶ戦時の日本のできごとと戦時の滋賀のできごとをつなげて、担当職員が解説し、より深く戦時の滋賀のようすについて学ぶ機会として実施した。

⑦「戦跡めぐり in 岐阜」（8月4日）

戦時のものを展示している岐阜かかみがはら航空宇宙博物館や岐阜市平和資料室、戦争の跡が今も残る乙津寺など岐阜に残る戦争の跡をバスで巡った。



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の見学



乙津寺の見学

⑧「教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】」(8月9日)

実際に被爆された方を講師に招き、ご自身の体験をお話していただいた。最後には、質疑応答の時間も用意した。



講座のようす

⑨「アニメで学ぶ戦争【対馬丸-さようなら沖縄-】」(8月22日)

アニメ映画「対馬丸-さようなら沖縄-」の視聴を通して、戦争と平和について考えた。



上映中のようす

⑩「育てて食べよう戦時食②」(10月14日)

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの収穫をした後、そのサツマイモで戦時食を作る調理、試食体験を実施した。



サツマイモの収穫



戦時食調理体験



⑪「戦跡めぐり in 米原」(11月10日)

米原市岩脇に残る戦争遺跡の「蒸気機関車避難壕」を岩脇町づくり委員会の藤本伝一さんに案内をしていただき見学した。



見学の様子

⑫「作ろう戦時のおもちゃ【お手玉】」(12月7日)

戦時子どもたちが遊んだ「お手玉」を製作し、当時の子どもたちやお家の人の気持ちを考えた。



お手玉作りの様子

⑬「発信！わたしの平和への思い」(2月15日)

平和の学校あかりに参加して戦争について知ったことやそれぞれが抱いた平和への思いをプレゼンテーションソフトや新聞などにまとめた。



活動の様子

⑭「平和の学校あかり体験報告会」(3月15日)

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえて、第14回講座の開催を中止した。

## (10) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール

展示 令和元年（2019年）11月2日～令和2年（2020年）1月31日 当館2階 ギャラリー

表彰式 令和元年（2019年）11月2日（土）

### 事業概要

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校5年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校21校から463作品の応募があった。優秀作品6作品を含む応募のあったすべての作品を展示した。

### ○入賞者

	学校名	学年	氏名
ピース賞（小学校）	彦根市立城南小学校	第5学年	前川 陽香
ピース賞（中学校）	近江八幡市立安土中学校	第1学年	笹原 佑菜
ハート賞（小学校）	大津市立堅田小学校	第6学年	木下 歩美
ハート賞（中学校）	立命館守山中学校	第1学年	小西 菜々夏
オリーブ賞（小学校）	大津市立唐崎小学校	第6学年	山本 樹
オリーブ賞（中学校）	守山市立明富中学校	第3学年	武藤 優

### ※各賞について

ピース賞・・・当館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

## ピース賞

### 作品

### 制作者の思い

(小学校)

城南小  
前川 陽香



今から何十年前、大きな戦争があり、多くの人がなくなりました。二度とあってはいけないというねがいをこめてかきました。

(中学校)

安土中  
笹原 佑菜



私がかいた「つたえよう戦争を、つなげよう平和を」は、未来の子供達にも戦争の恐ろしさがつたえられて、二度と戦争がおこらない平和な世界になってほしいという願いをこめたメッセージです。

## ハート賞

### 作品

### 制作者の思い

(小学校)

堅田小  
木下 歩美



私が、教室で読んだ、心について書かれている小さい本が、好きになったので、それをイメージしてかきました。平和の中で笑っているのが、一番の心の栄養だと考えました。

(中学校)

立命館守山中  
小西 菜々夏



世界中が手を取りあい、家族のように親しく信頼しあえるような温かい関係になれば、平和になることができると思ったから。

## オリーブ賞

### 作品

### 制作者の思い

(小学校)

唐崎小  
山本 樹



8月6日の広島被爆者追悼式を再現してかきました。

(中学校)

明富中  
武藤 優



核兵器を中心に描きました。しかし、それだと攻撃的になってしまうので鮮やかにサビさせ、コケを生やして核兵器を使えないようにしました。周りに花を飾ればだれもこの核兵器を使って戦争なんてしないと思いました。



## 4 平和学習支援事業

### (1) 来館学習の支援

○来館学校数 実績 (へいわの子事業を含む)

	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	56 校	49 校	5 校	2 校
児童・生徒数	2834 人	2444 人	309 人	81 人

○主な方法

- ・展示見学

学校が作成するワークシートや当館職員が作成したクイズラリーを用いて調べ学習

- ・館職員による平和学習
- ・戦争体験者によるお話を聞く会
- ・戦時食体験



来館学習での様子(愛知中学校)

### (2) へいわの子事業

新たな平和学習プログラムの開発に取り組み、これまでより深く平和について考える現地見学を設定した来館学習プログラム「へいわの子事業」を実施した。また、この事業への参加を支援するため、交通費に対し補助金を交付した。

へいわの子事業実施校 実績

長浜市立長浜南小学校	児童数 77 名	引率者数 4 名	計 81 名	
高島市立新旭南小学校	児童数 47 名	引率者数 3 名	計 50 名	
高島市立高島小学校	児童数 55 名	引率者数 4 名	計 59 名	
日野町立日野小学校	児童数 82 名	引率者数 6 名	計 88 名	合計 278 人

主な方法

- ・館職員による平和学習講座



(高島小学校)

- ・展示見学 (館職員が作成したワークシートを用いての調べ学習)



(長浜南小学校)



- ・戦争体験者証言映像の視聴
- ・戦跡見学



(新旭南小学校)

### (3) 出前授業

○出前授業実施校 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学
学校数	108校	85校	13校	7校	3校
児童・生徒数	8673人	6145人	1072人	1167人	289人

○主な方法

- ・実物や写真・動画の提示
- ・体験談の提示
- ・資料観察



出前授業での様子 (船岡中学校)

### (4) 地域への出前講座

戦後 75 年、「戦後 70 年」とメディアなどで取り上げられていた 5 年前と比べると、若干意識が低くなっているように感じるが、戦争を体験していない世代が増え、「子どもたち」とともに「大人」への語り継ぎが重要になることを踏まえて、公民館や地域の自治会、企業や各種団体などからの要望に応じた平和学習支援として、地域への出前講演を実施した。

令和元年度においては、49 団体、2260 人の利用があった。

○主な内容

- ・「滋賀への空襲」
- ・「滋賀にまつわる戦争の記録」
- ・「戦争と滋賀」



出前講演での様子 (島学区平和祈念式典)

## (5) 資料貸出

当館では、学校や地域の平和学習を支援するために、実際に手にとって触れるハンズオン資料やパネル、戦争体験者証言映像の貸出を行っている。令和元年度は、新たに「戦争体験者証言映像(2019)」を制作し、令和2年度から貸出を始める。

学校への貸出の傾向としては、視聴覚資料の貸出が多い。地域への貸出としては、今年度に貸出を始めた「戦争体験者証言映像(2018)」の貸出数が多かった。また、令和元年度も夏期にパネルの貸出が集中する傾向にあった。例年、この傾向が続いていたためAセット、Bセットの数を増やし、要望に応えられるようにした。

### 資料貸出しの実績

- ①学校への貸出 24校  
小学校 22校 中学校 2校
- ②地域への貸出 48件

### 貸出資料の種類

- ①ハンズオン資料…千人針、臨時召集令状(複製)、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」(ラミネート版)、カルタ「戦ふ日本カルタ」(ラミネート版)、双六「大東亜共栄圏めぐり」(ラミネート版)
- ②パネル  
Aセット(16枚組)3セット  
Bセット(20枚組)3セット  
Cセット【滋賀で学ぶ戦争の記録】(16枚組)3セット  
写真・ポスター類(64枚)
- ③小学校国語科読み物教材「一つの花」対応セット
- ④視聴覚資料
  - ・滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖(うみ)17本」
  - ・小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像  
「大阪から来た女の子」「滋賀県満州報国農場の若者たち」
  - ・2014、2015、2016、2017、2018、2019年度制作の戦争体験者証言映像  
(DVD版・BD版)
  - ・その他、戦争や平和に関するビデオ・DVD

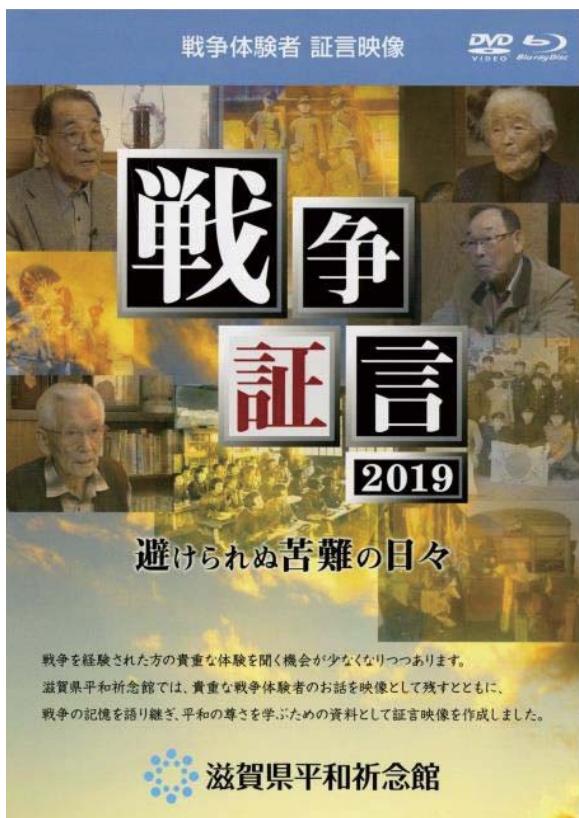
## (6) 戦争体験者証言映像の制作

戦争体験者の体験談を記録・保存するとともに、広く県民に戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶための映像教材として、戦争体験者証言映像を制作した。平成26年度から事業を開始して、これまでに5作品を制作した。引き続き、令和元年度は4名の体験者にご協力をいただいて、『戦争証言2019』を制作した。本作品は以下の5本の映像にまとめた。

本作品は館内での閲覧のほか、希望者への貸出も行っている。

『戦争体験者証言映像 戦争証言2019』DVD・Blue-ray

「出征兵士の妻」	佐井 新子さん	(13分)
「戦時下の国民学校」	門阪 圭平さん	(12分)
「勤労働員 信楽焼の手榴弾」	小山田 仙三さん	(13分)
「戦場へ向かった少年兵」	内林 義幸さん	(13分)
「終戦 そしてシベリア抑留」	内林 義幸さん	(13分)



戦争体験者証言映像『戦争証言2019』チラシ



## 5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成 23 年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。令和元年度においては、新たにボランティア登録の申込があった方を対象とした「ボランティア登録講座」を 2 回開催（5、11 月）し、4 名の方が新たにボランティア登録をされた。令和元年度末現在におけるボランティア登録者数は 53 名で、年齢層は 10 代から 80 代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、来館者案内活動、戦時食体験活動、手紙等解読活動、紙芝居や寸劇を上演する演劇活動、情報紙「平和の灯」を制作する活動など、各グループの活動が積極的に進められている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力なども継続して行われている。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館をつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

### ボランティア活動の紹介

来館者案内活動グループ	館内での来館者との交流や案内をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
演劇グループ	平和や戦争をテーマにした紙芝居・人形劇・寸劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解読グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解読する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
情報紙制作活動グループ	情報紙「平和の灯」を制作します。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧（2 畳）をつくり、平和への願いや当館の活動を PR します。



ボランティア全員集会



来館者への案内活動



平和の学校あかりでの戦時食紹介活動



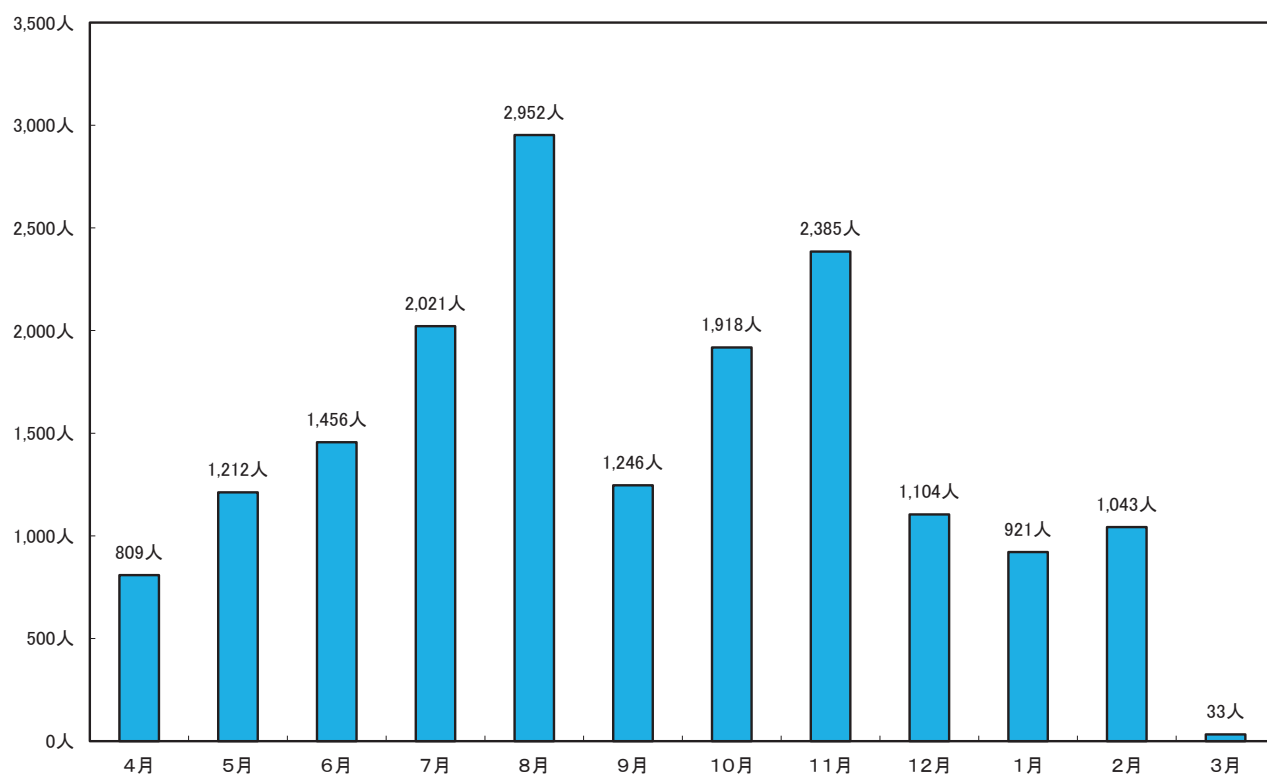


## Ⅱ 資料

### 1 利用状況

#### (1) 月別来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開館からの累計
開館日数	22日	24日	19日	26日	31日	19日	24日	23日	16日	19日	23日	1日	247日	2105日
来館者数	809人	1,212人	1,456人	2,021人	2,952人	1,246人	1,918人	2,385人	1,104人	921人	1,043人	33人	17,100人	181,359人
1日あたりの平均来館者数	37人	51人	77人	78人	95人	66人	80人	104人	69人	48人	45人	33人	69人	86人



## (2) 来館学校一覧

年	月	日	学校等名称	人数	
令和元	6	13	八日市南小学校	96	
		14	愛知中学校	140	
		24	長浜南小学校	78	
		25	蒲生東小学校	33	
		27	愛東南小学校	21	
		27	愛東北小学校	21	
		28	市原小学校	13	
		28	山上小学校	27	
	7	4	新旭南小学校	48	
		11	今津北小学校	21	
		11	愛東中学校	19	
		12	愛東中学校	20	
	10	1	竜王小学校	25	
		2	竜王小学校	25	
		3	竜王小学校	25	
		8	竜王西小学校	31	
		10	御園小学校	74	
		11	竜王西小学校	31	
		11	坂田小学校	75	
		17	近江兄弟社高校	69	
		18	湖東第二小学校	26	
		18	湖東第一小学校	33	
		24	山田小学校	67	
		25	菩提寺小学校	56	
		30	五個荘小学校	111	
		31	能登川北小学校	15	
		31	伊吹山中学校	47	
	11	1	八日市北小学校	69	
		1	虎姫小学校	34	
		7	箕作小学校	81	
		7	稲枝東小学校	74	
		8	布引小学校	46	
		8	八日市西小学校	42	
		12	南郷里小学校	97	
		14	玉緒小学校	32	
		15	愛東南小学校	21	
		15	愛東北小学校	21	
		15	湖東第三小学校	50	
		18	秦荘西小学校	52	
		19	多賀小学校	56	
		21	蒲生西小学校	76	
		22	能登川東小学校	65	
		28	びわ南小学校	48	
		29	蒲生北小学校	50	
		29	びわ北小学校	25	
		12	4	能登川西小学校	40
	4		秦荘中学校	83	
	5		市原小学校	13	
	5		山上小学校	27	
	6		能登川南小学校	104	
	11		八日市高等学校	12	
	13		秦荘東小学校	46	
	16		下田小学校	34	
	16		志津小学校	146	
	2		1	9	高島小学校
		28		日野小学校	85
56校				2,834人	

## (3) 出前授業実施学校一覧

年	月	日	学校等名称	人数
令和元	5	8	朝宮小学校	8
		22	滋賀大学教育学部	54
		29	安曇川高校	145
	6	3	日吉台小学校	18
		6	伊吹高等学校	147
		7	草津第二小学校	102
		11	南郷小学校	104
		11	愛知中学校	140
		12	県立守山中学校	80
		19	栗東高等学校	235
		20	治田東小学校	106
		22	豊郷小学校	41
		25	立命館大学	200
	7	10	大宝東小学校	79
		11	上田上小学校	14
	8	8	県立聾話学校	15
		24	佐山小学校	103
	9	2	船岡中学校	51
		4	甲良東小学校	32
		5	南郷里小学校	84
		9	老蘇小学校	25
		10	多賀小学校	56
		11	小松小学校	35
		12	笠縫小学校	121
		13	近江兄弟社高校	69
		13	馬淵小学校	26
		17	滋賀大学教育学部附属小学校	101
		17	長浜北小学校	137
		18	水口東中学校	80
		19	桐原小学校	37
		24	逢坂小学校	71
		24	中央小学校	45
		25	安曇小学校	50
		26	御園小学校	74
		26	水戸小学校	73
		27	伊吹小学校	20
	30	晴嵐小学校	139	
	10	1	志津南小学校	120
		3	八幡小学校	134
		4	野洲小学校	140
		7	息長小学校	34
		8	立入が丘小学校	75
		9	堅田小学校	136
		10	青山小学校	180
		15	小野小学校	35
		15	真野北小学校	40
		15	伊吹山中学校	47
		16	矢倉小学校	110
		17	米原小学校	57
		17	古保利小学校	16
21		下阪本小学校	159	
23		信楽高等学校	74	
23		沖島小学校	5	
24		仰木小学校	10	
28		膳所小学校	111	
28		北野小学校	59	
29		和邇小学校	90	
29	北里小学校	59		



年	月	日	学校等名称	人数		
		29	瀬田小学校	203		
		31	城南小学校	143		
		31	玉園中学校	110		
	11	1	甲南第二小学校	17		
		5	平野小学校	187		
		5	真野小学校	89		
		6	守山北高等学校	192		
		6	金田小学校	176		
		6	八幡東中学校	61		
		7	八幡東中学校	119		
		11	菩提寺北小学校	48		
		11	五個荘小学校	111		
		12	今津東小学校	66		
		12	本庄小学校	8		
		13	笠縫東小学校	82		
		13	富士見小学校	72		
		14	藤尾小学校	28		
		14	秦荘東小学校	46		
		15	仰木の里小学校	35		
		18	三上小学校	44		
		18	瀬田北小学校	147		
		19	老上西小学校	136		
		20	老上小学校	84		
		21	大石小学校	50		
		22	稲枝北小学校	15		
		25	瀬田東小学校	167		
		25	大野小学校	24		
		26	貴生川小学校	126		
		26	旭森小学校	120		
		27	雲井小学校	15		
	28	坂田小学校	82			
	29	平田小学校	37			
	12	2	志賀小学校	113		
		6	鳥居本小学校	21		
		9	木戸小学校	47		
		10	多羅尾小学校	4		
		10	河南中学校	64		
		11	伊香立小学校	19		
		12	武佐小学校	26		
		13	城北小学校	38		
		18	希望ヶ丘小学校	99		
		19	祇王小学校	90		
		2	1	15	虎姫小学校	34
	16			守山養護学校	10	
	20			近江兄弟社高等学校	305	
	21			びわこ学院大学	35	
	29			日枝中学校	120	
	2		7	甲賀中学校	90	
			12	米原中学校	59	
			18	船岡中学校	51	
	108校				8,673人	

## 2 広報活動

報道記録(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

年	月	日	内 容	報道機関
平成31	4	3	八日市飛行場跡を探訪 東近江「掩体」など旧陸軍遺跡	読売新聞
		3	滋賀県平和祈念館 変革とさらなる充実を 開館8年目を迎えて	滋賀報知新聞
		14	「平和塾・つなぎ人」受講募る	滋賀報知新聞
		21	戦争体験者の証言映像化	滋賀報知新聞
令和元	5	3	戦争体験者の証言映像化	滋賀報知新聞
		14	2019年度子ども向け体験型平和学習 「平和の学校あかり」開講	滋賀報知新聞
		16	前期講座の参加募る子ども向け体験型平和学習	滋賀報知新聞
		17	2019年度子ども向け体験型平和学習 「平和の学校あかり」開講	滋賀報知新聞
	6	7	草津第二小学校への出前による平和学習支援(ニュース)	びわこ放送
		9	県出身兵 沖縄激戦の足跡	読売新聞
		9	子ども向け体験型平和学習 平和の学校あかり開講	滋賀民報
		11	碑文が語る沖縄戦 平和祈念館が講座	毎日新聞
		12	第23回企画展示「沖縄戦—1945年」(関西ニュース)	NHK
		14	第23回企画展示「沖縄戦—1945年」(関西ニュース)	NHK
		18	「沖縄戦 1945年」県平和祈念館 第23回企画展	滋賀報知新聞
	7	21	徴兵検査や空襲 草津第2小で平和学習(西堀先生)	読売新聞
		2	68年ぶりに故郷へかえてきた万年筆 —七里操(しちりみさお)さんの沖縄戦—	滋賀報知新聞
		19	沖縄戦 県出身兵士の足取り	中日新聞
		25	私の夏 戦争の記憶を継承する 下村 知輝	朝日新聞
	8	30	「未来へのバトン」平和を祈念する日事業	滋賀報知新聞
		2	滋賀出身兵士の沖縄戦手帳など79点生々しく 笑って死んでいくものには何も要りません さようなら	毎日新聞
		8	滋賀県平和祈念館の説明と第23回企画展示「沖縄戦—1945年」	KBS京都ラジオ
		9	平和を祈念する日事業 未来へのバトン～あなたが「つなぎ人」	滋賀報知新聞
		9	「お前ら若い、戦争で死ぬな」 沖縄戦 県出身兵士の遺品は語る	滋賀報知新聞
		10	優しき上官 沖縄戦の遺品 少年兵の身隠し 自らは爆死 平和祈念館で展示 ガマで発見の万年筆	読売新聞
		14	戦争体験資料からオリジナル劇、きょう上演 平和祈念館ボランティア演劇グループ	中日新聞
		14	少年兵守り 散った命 分隊長・七里操さん	産経新聞
		14	兄の無念沖縄で実感 岩崎三之利さん(85) 慰霊碑下の石 遺骨の代わりに	朝日新聞
		20	兄戦死、遺骨代わりに木札 永源寺出身の岩崎三之利さん講演	滋賀報知新聞
	9	3	第23回企画展示「沖縄戦1945年・—滋賀県出身の兵士がたどった道—」に見る戦争体験	滋賀報知新聞
		6	第23回企画展示「沖縄戦1946年・—滋賀県出身の兵士がたどった道—」に見る戦争体験	滋賀報知新聞
		8	お前ら若い、戦争で死ぬな 沖縄で戦死 長浜の七里さん	朝日新聞

年	月	日	内 容	報道機関
2010	10	1	滋賀県平和祈念館第24回企画展示「写真集法」に見る戦時下の女性	滋賀報知新聞
		1	女たちの満洲、シベリア大人のための歴史教室 生田美智子阪大名誉教授迎え	滋賀報知新聞
		11	滋賀県平和祈念館第24回企画展示「写真週法」に見る戦時下の女性	滋賀報知新聞
		11	広島への旅行を前に平和学習 高島の安曇小	読売新聞
		13	戦争証言と新聞 後世に草津の94歳 萩野さん	読売新聞
		19	「写真週法」に見る戦時下の女性 滋賀県平和祈念館の企画展	滋賀報知新聞
		20	戦争と女性 現実の姿は	朝日新聞
		21	滋賀県平和祈念館 消えゆく記憶を伝えたい(関西ニュース)	NHK
	11	5	滋賀県平和祈念館ボランティアの紹介	滋賀報知新聞
		8	滋賀県平和祈念館ボランティアの紹介	滋賀報知新聞
		8	滋賀県平和祈念館 消えゆく記憶を伝えたい(関西ニュース)	NHK
	12	3	戦時下の婦人	滋賀報知新聞
		8	戦争体験手作り芝居に 県平和祈念館 ボランティアら	朝日新聞
		11	県平和祈念館 戦時下の婦人	滋賀報知新聞
		11	市原・山上小学校への出前による平和学習支援(ニュース)	スマイルネット
		15	グラフ紙「写真週報」戦時下の女性暮らしぶり紹介	京都新聞
		16	戦死父 たどる著作寄贈 近江八幡の水原さん	京都新聞
		19	しがキャンパル 戦争いかに語り継ぐか	毎日新聞
		20	児童生徒の絵画コンクール	滋賀報知新聞
	23	戦争と平和テーマに絵画展	毎日新聞	
	2012	1	8	第25回企画展示「守山空襲－戦場となった滋賀県－」(ニュース)
9			守山空襲の惨劇知って	中日新聞
14			新年とともに、第二の創生にむけて 端館長	滋賀報知新聞
19			守山空襲の実態紹介 県平和祈念館の企画展	滋賀報知新聞
29			平和学習展示「子どもたちの足跡展」(ニュース)	スマイルネット
30			戦後75年、リニューアルへ 端信行館長	滋賀報知新聞
31			戦死した父の遺品や追悼本 戦争ないように役立てて近江八幡の水原さん 県平和祈念館へ	毎日新聞
2		1	県平和祈念館学習プログラム「へいわの子事業」実施中	滋賀報知新聞
		4	「東京五輪・パラ五輪」平和を考えるきっかけに	滋賀報知新聞
		7	パラ採火 共生掲げ地域色 滋賀平和の灯	中日新聞
		7	採火式は8月15日パラ五輪聖火県平和祈念館で	朝日新聞
		7	パラ聖火「平和の灯」をつなぐ8月15日県内は東近江市から	毎日新聞
		7	東近江「平和の灯」で採火 パラ聖火	読売新聞
		17	機銃掃射の跡 まざまざ県平和祈念館 守山空襲展	毎日新聞
20	平和祈念館で採火式	滋賀報知新聞		



年	月	日	内 容	報道機関
		21	戦争知るきっかけに 開館8周年事業	滋賀報知新聞
	3	20	一斉休校 平和教育に影響	中日新聞

### 3 組織（令和2年3月現在）

#### (1) 職員

館長	端 信行
副館長	村井 洋一
専門員	北原 治
副主幹	梅山 光彦
副主幹	佐藤 誠治
主査	西堀 公範
主任主事	谷澤 真也
嘱託員	坂井 秀男
嘱託員	日高 昭子
日々雇用職員	近藤 恵

#### (2) 職員構成

区分	館長	行政職	学芸員	教育職	嘱託・日々雇用	合計
人数	1	3	1	2	3	10

#### (3) 滋賀県平和祈念館運営会議

座長	端 信行	（滋賀県平和祈念館 館長）
委員	中島 伸男	（東近江市戦争遺跡の会 世話役）
	中井 均	（滋賀県立大学 教授）
大長	弥宗治	（一般財団法人滋賀県遺族会 会長）
野瀬	隆行	（東近江市立愛東コミュニティセンター 館長）
藤関	昭雄	（あいとうマーガレットステーション 専務理事）
山路	哲司	（東近江市企画部企画課 課長）
福島	栄寿	（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 会長）
中澤	光子	（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 副会長）

#### (4) 滋賀県平和祈念館展示等監修委員

委員	原田 敬一	（佛教大学 名誉教授）
	原山 浩介	（国立歴史民俗博物館 准教授）

#### 4 決算（令和元年度）

##### ○歳入状況

（単位：円）

科 目	決 算 額
基金繰入金	30,539,707
諸 収 入	1,059,611
合 計	31,599,318

##### ○歳出状況

（単位：円）

事 業 名	主 な 事 業 内 容	決 算 額
管 理 運 営 費	施設維持管理費、施設運営費、事務費、広報費	22,711,605
展 示 事 業	企画展示、特別企画展示、地域交流展示、基本展示増補改訂	1,513,682
資料収集保存事業	収蔵資料防虫防かび対策、研究図書購入、収蔵資料等デジタルデータ管理・公開システムの運用	3,572,198
普及啓発事業	平和学習講座、戦争体験を聞く会、映画上映会、平和の学校あかり	524,991
平和学習支援事業	子どもピースメッセージ絵画コンクール、戦争体験証言映像制作、へいわの子事業	3,276,842
合 計	計	31,599,318



## 5 施設概要

所在地 滋賀県東近江市下中野町 431 番地

### 建物概要

構造	鉄筋コンクリート	2階建
敷地面積	2,864.00㎡	
延床面積	3,115.45㎡	
	1階	1,759.03㎡
	2階	1,356.42㎡

開館年月日 平成24年(2012年)3月17日

### 平面図





## 7 関係規程

滋賀県平和祈念館の設置および管理に関する条例

平成 23 年滋賀県条例第 48 号

### (設 置)

第 1 条 県民に戦争の悲惨さおよび平和の尊さを伝えることにより、平和を願う豊かな心を育み、もって平和な社会の発展に資するため、滋賀県平和祈念館（以下「平和祈念館」という。）を東近江市下中野町に設置する。

### (業 務)

第 2 条 平和祈念館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県民の戦争に関する体験の記録その他の資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、および利用に供すること。
- (2) 平和を願う豊かな心を育むために必要な普及啓発を行うこと。
- (3) その他平和祈念館の設置の目的を達成するために必要な業務

### (開館時間等)

第 3 条 平和祈念館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 平和祈念館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日および火曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

3 知事は、必要と認めるときは、第 1 項に規定する開館時間を変更し、または前項に規定する休館日を変更し、もしくは臨時に休館日を定めることができる。

### (特別観覧の許可)

第 4 条 平和祈念館が保管する資料の熟覧、模写、模造、撮影その他の利用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請し、その許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。



- (1) 平和祈念館における秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 資料または平和祈念館の管理上支障があると認められるとき。
- (3) その他特別観覧を許可することが適当でないと認められるとき。

3 知事は、第1項の規定による許可をする場合においては、資料または平和祈念館の管理上必要な限度において、条件を付することができる。

(特別観覧の許可の取消し等)

第5条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の規定による許可を取り消し、または特別観覧を制限し、もしくは特別観覧の停止を命ずることができる。

- (1) 前条第1項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）が詐欺その他不正の行為によって同項の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 特別観覧者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (4) 特別観覧者が前条第3項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 当該許可に係る資料が災害その他の事故により特別観覧に堪えなくなったとき。
- (6) その他知事が特に必要と認めたとき。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年3月1日から施行する。ただし、第2条第1号（資料の展示および利用に係る部分に限る。）および第4条の規定は、同月17日から施行する。